

保護者 各位

札幌新陽高等学校
校長 赤 司 展 子

本校の感染症対策に関する基本方針について(お知らせ)

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、今なお、道内では新規感染者数が連日1000名を超える状況にあります。本校では、昨年度に引き続き、国の指針に基づいた感染予防対策を行うとともに、コロナ禍での2年間の経験を踏まえ、より一層充実した教育活動を実践してまいります。つきましては、次のように感染防止対策を実施いたします。皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 登校差し止め(出停)による感染拡大防止

下図に示すとおり、本人を含む同居の家族だけでなく同居の家族の関係者(職場の同僚や兄弟姉妹の同級生など)に感染者や濃厚接触者がいる場合は、登校が差し止め(出停)となります。該当する場合、必ず学校に連絡をお願いいたします。

【登校を差し止める場合】

同居の家族の関係者が(職場の同僚、兄弟姉妹の同級生など)

陽性判定・・・同居家族の所属先の状況・指示等を確認し、本校で対応を検討。

→本校から指示があるまで、登校不可

同居の家族が

- A. 陽性判定・・・保健所の指示から判断し、登校不可(出席停止)
→当該感染者の発症日または住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い日を0日目として7日間。ただし、同一世帯で別の同居者が発症した場合は、改めてその発症日を0日目として起算する。
- B. 濃厚接触者判定・・・家族の陰性確定日まで登校不可(出席停止)
- C. 体調不良・・・家族の陰性確定日まで登校不可(出席停止)

本人が

- A. 陽性判定・・・保健所から指示された期間
→発症日または無症状の場合は検体採取日を0日目として、10日間登校不可(出席停止)
- B. 濃厚接触者判定(家族以外)
・・・当該感染者との最終接触日を0日目として、7日間登校不可(出席停止)
- C. 体調不良・・・検査→陰性→症状改善まで登校不可(出席停止)

2. 登校時における基本的感染予防

<基本項目>

	対 策	対 策 の 具 体
1	3密を避ける工夫 「密閉」空間 「密集」場所 「密接」場面	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の出入り口扉、廊下側の窓は可能な限り解放 ・定期的な換気(25分に1回以上) ・多人数で集まらない ・間近での発声や会話を避ける
2	咳エチケット マスクの着用	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や咳が出るときは留意 ・不織布マスクの正しい着用を推奨
3	手洗い(うがい) 手指の消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗いの実践 ・登下校等学校に出入りする時や共用物に触った後は必ず手洗い・手指消毒を行う
4	検 温	<ul style="list-style-type: none"> ・登校前の検温
5	施設環境等	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた機器等の消毒

<教育活動>

1	登下校時の挨拶など	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の声での挨拶、会釈など(2m程度の距離を意識)
2	玄関、ロッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・3密を避け、黙々と行動する
3	朝・放課後のSHR	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り間隔を空けた座席 ・私語をしない
4	授業、模試	<ul style="list-style-type: none"> ・物の貸し借りをしない
5	休み時間 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ窓を開け換気 ・会話は普通の声
6	教室移動	<ul style="list-style-type: none"> ・3密を避け、黙々と行動する
7	昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・向かい合わずに前を向いて、黙々と食事する
8	掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所に集まらず、間隔を取り手早く掃除する
9	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い
10	部活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・検温 ・2時間以内 ・極力マスクを外す活動を避ける ・接触するような活動は極力しない
11	個別面談	<ul style="list-style-type: none"> ・対面を避け間隔をとる
12	集会、講演会等	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り間隔を空けた座席 ・私語をしない ・できる限り短時間での開催

お問い合わせ 電話(代表):011-821-6161

生徒の登校に関すること 各担任

部活動に関すること 各顧問

教育活動全般に関すること 教 頭

その他のお問い合わせは、左記QRの《問い合わせフォーム》からお願いします。



3. 感染状況に応じた授業形態の変更による感染拡大防止

本校では、文部科学省から示されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～(2022.4.1 Ver.8)」に基づき、下図の通り、感染状況に応じた教育活動を展開してまいります。

北海道レベル分類	札幌市の状況	授業形態	授業時数	部活動
1	一般医療が安定的に確保され、新型コロナウイルスに対応できている	「対面授業」を感染防止に最大限配慮して実施する。	6時間	感染対策をした上で実施する
2	新規感染者の増加が見られ、医療の負荷が生じはじめている	ただし、校内で新型コロナ陽性者や濃厚接触者が判明した場合や、市中の感染状況によっては別に定める取扱基準 ^(※) に従ってオンライン授業に切り替える。		
3	一般医療を相当程度制限しなければならない	(ステージ3でも急拡大期でクラスターの発生が危惧される場合を含む)		
4	一般医療を大きく制限しても新型コロナウイルスに対応できない	原則「オンライン授業」とするが、希望する生徒には登校を認める。指定の登校日は市中の感染状況を見ながら、活動の重要性を考慮して慎重に判断する。	オンライン 6時間	全道・全国に直結する大会に限り時間、回数を厳選して実施する (オンラインでの活動は可)

【※警戒ステージ1～3におけるオンライン授業の取扱基準について】

(ア) 学級単位

- ・同一の学級において複数の生徒等の感染が判明した場合
- ・感染者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ・1名の感染者が判明し、学級内に複数の濃厚接触者が存在する(恐れを含む)場合

(イ) 学年・コース単位

- ・同一学年かつ同一コースで複数の学級において(ア)のケースのいずれかが確認され、学年・コース内で感染が広がっている可能性が高い場合
- ・コースが異なる場合であっても、複数のコースにまたがって濃厚接触者が存在する(恐れを含む)場合

(ウ) 学校単位

- ・異なる学年かつコースで複数の学級において(ア)のケースのいずれかが確認され、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合

○その他、保健所の助言等があった場合や市中の感染状況を考慮し校長が必要と判断した場合、学級単位～学校単位でオンライン授業とすることがある。

○オンライン授業の期間は5～10日を目安として状況をみながら判断する。